



## 21 日 (月) わたしをつかまえてください

ヨハネ 15 : 4 「わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。」

主よ、私に御国の道を歩む力はありません。あまりにも愚かで、わきまえもなく、道を踏み外すような者です。

せめてできることは、必死であなたにしがみつき、あなたの中にとどまろうとすることです。しかし、それでさえ、心が苦しみ、不条理なことを味わうと、糸の切れたたこのように、あなたから遠く飛んでいきそうです。

ですから、詩篇の作者のように祈ります。「あなたは私の右の手をしっかりとつかまえられました。あなたは、私をさとして導き、後には栄光のうちに受け入れてくださいませう」(73 : 23-24)。

どうか、私をつかまえていてください。この受難週、特にあなたのそばにいらしてください。私の罪のためにあなたがお受けになった御苦しみを何度も思い起こさせてください。それが、あなたの愛であったことを教えてください。

## 22 日 (火) 耐える力を

ヨハネ 16 : 12 「わたしには、あなたがたに話すことがまだまだたくさんありますが、今あなたがたはそれを耐える力がありません。」

主よ、あなたは私をもっと真理の奥へと導こうとされているのですね。しかし、私に耐える力がないので、私は未だに浅瀬にいて、深みにこぎ出すことができないのですね。

あなたの恵みの深さ、広さを教えてほしいのです。そのためには、少々の試練を耐え抜く信仰を与えてください。ちょっとした不安や悲しみや困難ですぐに折れてしまう私ではなく、あなたの御力を信じて、耐える力を与えてください。

そして、道を示してください。向こう岸へ渡ろうと、私の手を取って、私を深みに連れて行ってください。そのようにして私を練り、私を鍛え、この世の様々な困難に耐え抜く力、悪魔の誘惑に耐え抜く力を与えてください。



## 23 日 (水) イエスの涙

ルカ 19 : 41 「エルサレムに近くなった頃、都を見られたイエスは、その都のために泣いて、言われた。」

主よ、あなたが日本を、また私たちの町をご覧になったとき、あなたを受け入れようとしないこの国に涙されることでしょうか。

では主よ、私の教会は、私の家族は、私の心はどうでしょうか。ご覧になってください。あなたを喜んで受け入れる素直な心なのではないでしょうか。

あなたの涙が、裁きではなく愛故の涙であることを感謝します。どうか、私の心に、私の生活の中心にあなたをお迎えする日でありますように。

また、あなたの涙に、この思いを重ねて、あなたを受け入れようとしないこの世界のために祈ることができますように。

## 24 日 (木) 足を洗ってください

ヨハネ 13 : 8 「ペテロはイエスに言った。『決して私の足をお洗いにしないでください。』イエスは答えられた。『もしわたしが洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もありません。』」

主よ、あなたは私の一番汚れているところに手を伸ばされます。そのたびに、思わずペテロのように、とんでもない！と、足を引っ込めしめる者です。

イエスさま。あなたに申し訳ないのです。こんなに汚れていることが恥ずかしいのです。そこまで弱い自分が情けないのです。

でも主よ。ペテロに語られたように私にも強

く語って下さい。「足を出しなさい。もしわたくしが洗わなければ、あなたはわたしとの関係を失うのですよ」とやさしく諭して下さい。恐る恐る差し出します。申し訳ないほど情けない私の足を。感謝します。あなたの憐れみに。



## 25日（金）勇敢でありなさい

ヨハネ16：33「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

イエスさま、あなたは十字架にかかれる前に、すでにご自身の勝利を確信しておられたのですね。いや、すでに勝利を握っておられたのですね。ほふり場に引かれる小羊のように黙って口を開かず、黙々と患難に耐えながら、それでもすでに勝利を握っておられたのですね。

だとしたら、私もあなたに倣うことができますように。患難の中で、勝利者であるあなたに目を上げ、あなたが約束して下さる「すでに世

に勝った」とおっしゃる勝利を私の心に注いで、患難の嵐の中で沈むばかりになる私の日常をしっかりと捕らえて、勝利の道を行かせて下さい。

まっすぐにあなたを見ることができるよう。まっすぐにあなたを見ることが、勇敢な姿勢であると、私に教えて下さい。.

## 26日（土）心を燃やして下さい

ルカ24：32「そこでふたりは話し合った。『道々お話しになっている間も、聖書を説明してくださった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。』」

主よ、私がエマオの途上の2人の弟子たちのように、暗い顔で道を歩いているとき、そっと近づいてください。きっと、私も鈍い者で、あなたの存在がわからないかもしれません。

それでも主よ、あの弟子たちにしてくださったように、私にもみことばを与え、みことばを説き明かし、そのことばを私のたましいに響かせて、この心を温めてください。

年度替わりです。私の心を温めて、「恐れるな。わたしが共にいる」とおっしゃってください。

明日の復活の礼拝に私も行くことができますように。私の健康を守り、私に時を与えてください。そして日本中の教会の礼拝を祝福して下さり、復活の希望にあふれた礼拝をあなたにささげることができますように。

# みことばとともに歩む 受難週

2016

3月21日（月）～ 3月26日（土）

